

里山倶楽部便り

「燻製作り」に挑戦

溝口博之

9月の里山倶楽部は光陽の里、山本さんの指導のもとで倉馬の里で

「燻製作り」に挑戦しました。

燻製塔はドラム缶を藤本さん、松浦さんに事前に細工してもらって立派なものが完成、チップ、ガスコンロ、七輪など準備完了。

食材は頂き物の猪肉。サンマ、イカ、タコなどは世話人が前日スーパーで買って塩コショウで下ごしらえして、早起きが得意の藤本さんに当日朝6時ごろから燻し始めてもらいました。当日は雨模様でしたが19名が参加、一同できたての「くんせい」のおいしさに「かんせい」



ドラム缶で作るサンマの燻製



雨また好し、話題は尽きません

を上げ山本さんの講義を聞きながら「麦のエキス」や「お米のエキス」でまたも「かんせい」を上げた有意義な一日でした。

「倉馬の里」の世話役から一言

一、当日はウォーキングを予定しておりましたがあいにくの雨で取りやめました。倉真には牛岡神社や倉真報徳社など報徳運動の歴史を物語る史跡があります。それは江戸・明治・大正にかけて報徳運動をリードした岡田三代(佐平治、良一郎、良平)の出身地であるためです。ときにはそれらに触れることもいいのではないかと思いますので次回以降企画します。

二、「倉馬の里」の市民農園で野菜を作っているステイブソン・ウーナ夫妻も参加しました。

ご夫妻はオーストラリア出身で掛川市内の高校で英語教師をされており、イノシシや秋刀魚の燻製に「ベリー・ナイス」と舌鼓を打っていました。国際色豊かな燻製作りになりました。

三、倉真の前県議の戸塚久美子さんも駆けつけて、里山倶楽部の行事に花を添えていただきました。

(この項 藤本記)

近況報告

シンブル空間に遊びに来てね



寺島に来て4年

ぐらいが経ちます。築55年

の広い古民家で

す。新聞、郵便配達をしています。とても仕事環境はいいです。夏は森の風呂で時たま涼んでいます。ケータイ、メールも使うようになってきました。清水の友達とは、加茂荘、ゆり園、森の古刹を散策しました。とても喜んでくれました。都田のピ

オーネ狩りも行きました。黒くやわらかいものを選ぶのがコツと思いました。又、飲食をし、熟年の時をエンジョイしています。

中丸さん(ジャーナリストに)会いたいと名古屋に行きました。シンポジュームの裏情報には目からうろこでした。心の浄化が大切と。柔和な力強い握手に、プリンセスのオーラを感じました。畑の方はなかなか思うようにはいきません。夏には、ジャガイモ収穫祭を行いました。二十数名の方が参加されました。まずは収穫、食はツナおろしスパゲッティ、後にゲーム(ゴムボールを土手から転がすボーリングのように)をしました。

地域では、夏祭りには歌、敬老会ではマンドリンを弾きました。喜んでくれました。時たまカフェ(ビレッジ)に行くことがあります。元お寺ということでも落ち着きます。秋には柿が熟れます。おいしいコーヒードもどうですか。いつでもシンブルな空間に遊びに来てくださいね。掛川市寺島794 鈴木守